

事務事業名	社会を明るくする運動・啓発活動支援事業		所属部局	市民部	単位番号	4023				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	みんなでまちづくり推進課	課長名	浅利 澄子				
			所属担当	市民協働・自治会	担当者名	清水 学				
基本政策	基本計画	I 情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 01	目 12	細目 050	細々目 02
政策	計画	06 安全な環境づくり	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	体系	11 安心できる市民生活の実現								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 15 年度)			法令根拠	南アルプス市保護区保護司会活動補助金交付要綱					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市社会を明るくする運動実施委員会が行う「社会を明るくする運動」事業の一環として、南アルプス市保護区保護司会が実施する啓蒙啓発事業に対して、補助金交付要綱により380,000円を限度として市長が必要と認める額を補助金として交付する。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)						
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
				消耗品費	0					
				団体補助(市単)	344					
						計	344			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
26年度活動内容	社会を明るくする運動の実施
27年度活動予定	社会を明るくする運動の実施
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
保護司会	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市と保護司が連携して啓蒙啓発活動が行えるようにする。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安全で安心な明るい社会が築かれる。	

⇒		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない
名称	単位	
ア 社会を明るくする運動の実施	回	
イ		
ウ		
⇒		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない
名称	単位	
ア 保護司の人数	人	
イ		
ウ		
⇒		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない
名称	単位	
ア 啓蒙啓発活動の実施回数	回	
イ 啓蒙啓発活動に参加した保護司の数	人	
ウ		
⇒		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない
名称	単位	
ア 犯罪発生率	%	
イ 安全・安心な環境を実感できる市民の割合	%	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	344	349	344	341	341	341	
		事業費計(A)	千円	344	349	344	341	341	341	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	20	20	20	20	20	20	
		人件費計(B)	千円	91	91	91	91	91	91	0
		(A)+(B)	千円	435	440	435	432	432	432	0
活動指標	ア	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
対象指標	ア	人	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0		
成果指標	ア	回	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
	イ	人	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0		
上位成果指標	ア	%								
	イ	%								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	法務省の主唱により全国、県、市町村において、それぞれ運動が実施され、本市では合併以前より各町村において啓蒙啓発活動について保護司の協力を得ており、補助金を交付することになった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	合併時から交付している。平成18年に「南アルプス市保護区保護司会活動補助金交付要綱」を制定。21年度に補助金額について、若干の減額を行った。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	保護司会については、他に2本の補助金があり他の県内の自治体の中でも手厚い状況にある。本補助金は、使途が限定されている事業費補助金ではあるが、同一団体への補助金であるので、総合的な見直しが必要。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	補助金対前年比-6%
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	事業の精査

事務事業名	社会を明るくする運動・啓発活動支援事業	所属部	市民部	所属課	みんなでまちづくり推進課
-------	---------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 犯罪を犯した者や非行のある少年の更正とそれに対する地域社会の理解を深め、犯罪の無い明るい社会を目指すための運動を啓蒙啓発する活動への補助金の交付である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 運動は、国が主唱しているものであり以下県、市町村がそれぞれに展開するものである。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 この運動については、主唱する国の段階から保護司及び保護司会の協力を得て行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 市として行える啓発活動は実施しているが、事業費の見直しとあわせ実施方法も見直す必要がある。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 社明運動は市が展開する事業のため <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 社明運動は市が展開する事業のため
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業の実施方法を見直し、補助金による事業実施ではなく、直営により事業実施することで、事業費の明確化と削減を図る。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 これ以上の担当職員の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 保護司会の活動に対する補助である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	補助金を交付している団体からの詳細な報告をもとに、予算の組み立て方の再検討が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 実際の上位成果にどれだけ繋がったのか、はかりづらい事業である。近隣の自治体の取り組みも参考に事業の実施方法を見直し、事業費の削減に取り組む必要がある。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 事業の成果と事業費との関係(事業費を増やせば効果があがる事業ではない。)	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑩	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑩																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					